

職場体験！ 役場のしごと

5月31日（月）から5日間、大崎第一中学校の生徒2名が役場のしごとを体験しました。

同校では、さまざまな仕事を通じて、働くことの大切さ、社会の成り立ちやマナーを理解させるために毎年、職場体験を実施しています。

体験したのは、秘書のしごと、保育士のしごと、キャンプ場の管理など。

初日は、緊張で堅さが見られた2人でしたが、体験することに慣れ、真剣に取り組んでいました。

今回の職場体験が、職業を考えるきっかけとなり、将来の進路選択に役立つことを願っています。



▲町長に書類の内容を説明し、決裁を受ける体験学生

自転車交通安全教室 ルールや標識を覚えて！

5月25日（火）大丸小学校で自転車交通安全教室が開催されました。

5年目を迎える恒例の事業で、3年生になると、この講習を受講し自転車に乗ることが許されるもので信号機のある交差点や、指導員手作りの標識に従った運転に真剣なまなざしで取り組んでいました。

講習終了後は、交通安全協会大崎支部（徳禮景夫代表）発行の自転車安全運転者証が交付され、さらに交通安全に対する意識を向上させていました。



▲標識・ルール覚えて交通事故から身を守る！

ふるさと先生 持留がつながるものは校歌

持留小学校で、同小学校を卒業し多方面で活躍されている先輩を講師に招き、授業をしていただく『ふるさと先生』がスタートしました。

6月14日（月）、東靖弘町長を第1回目の講師に招き全校生徒へ授業が行われました。

講話では、自らの少年時代を振りかえり「戦後でものがない時代に育ち裸足で通学していた。えんぴつ、本、すべてを大切にしていた。ものを大切にしてほしい」「本町出身のプロ野球選手を例に、夢は叶うものあきらめないで」と在校生徒へメッセージを送りました。

最後に“校歌は心のふるさと”であり“持留が繋がるものは校歌”として全員で合唱を行いました。



▲講話の後には、町長への質問が多数飛び出しました。